

PHP

PHP マニュアル <http://php.net/manual/ja/> から抜粋

コメント記号

//	この後に記述する内容はコメントです（1 行のみ）
#	この後に記述する内容はコメントです（1 行のみ）
/*	コメントが始まります（複数行対応）
*/	ここまでコメントです（複数行対応）

演算子

- 代入演算子 =

- 代数演算子(算術演算子)

A + B	
A - B	
A * B	
A / B	
A % B	

- 加算子(++)、減算子(-) : A=10 のとき

A++	
A--	
++A	
--A	

- 複合演算子

- 比較演算子

==	等しい	===	値と「データ型」まで含めた完全一致
!=	等しくない	!==	値と「データ型」まで含めた不完全一致
>	より多い		
>=	より多いか等しい（以上）		
<	より少ない（未満）		
<=	より少ないか等しい（以下）		

->

アロー演算子 と呼ばれます。インスタンスのプロパティを参照する演算子です。

=>

ダブルアロー演算子

スコープ定義演算子 (::)

スコープ定義演算子 (またの名を Paamayim Nekudotayim)、平たく言うと「ダブルコロン」は、トークンのひとつです。static, 定数 およびオーバーライドされたクラスのプロパティやメソッドにアクセスすることができます。

これらの要素をクラス定義の外から参照する際には、 クラスの名前を使用してください。
PHP 5.3.0 以降では、変数を用いてクラスを参照することも可能です。 変数の値に (self や parent、 static といった) キーワードを指定することはできません。

なぜダブルコロンの Paamayim Nekudotayim という名前をつけたのか、 ちょっと奇妙に感じられるかもしれません。 しかし、Zend Engine 0.5 (PHP 3 のエンジン) を 書いている時に、Zend チームはこう呼ぶと決めたのです。 この奇妙な名前は、実はダブルコロンを意味するヘブライ語なのです！

アロー演算子って何？

- アロー演算子は左辺から右辺を取り出す演算子
- アロー演算子とはクラスのメソッドやプロパティにアクセスするための演算子です。
- オブジェクト指向を理解していないと、なんのこっちゃ分かりませんね。
- クラスは関数や変数がまとまった棚みたいなもんです。
- メソッドはその棚に保管してある関数で、プロパティは変数のことです。
- そこに入ってる値を取り出すみたいなイメージですね。
- ※実際にはもっと複雑なことをやりますが、趣旨が変わってくるためここでは割愛します。

アロー演算子を使うイメージ

- こんな感じなんだよというイメージです。
- こういう書き方はしません。
- ※オブジェクト指向はまた別項でやります。

```
class fruit {  
  $apple = “りんご”  
  $orange = “オレンジ”  
  $melon = “メロン”  
}  
fruit->$apple //りんご
```

- 「fruit」というクラスの中にある「\$apple」という変数にアクセスして値を取り出します。
- 「fruit」という棚に「\$apple」という引き出しがあって、その引き出しには「りんご」が入っていますので、その「りんご」を取り出すイメージですね。
- だから、引っ張ってくる値は「りんご」になります。
- ※実際にはもっと複雑なことをやりますが、趣旨が変わってくるためここでは割愛します。

	特殊文字	変数
シングルクォーテーション	そのまま表示	そのまま表示
ダブルクォーテーション	特殊文字を展開して表示	変数を展開して値を表示